

# 北欧オーニング 取扱説明書

\*この取扱い説明書及び保証書は必ずお施主様にお渡しください。

ご購入誠に有難うございます。本製品を安全に正しくお使いいただくためのお願い事項や商品保証についてご説明いたします。

## 1. 本製品の特徴

本製品は窓先の陽射しの調整を目的として作られており、窓先に日陰をつくることで室内の温度上昇や 明るさの調整をすることができます。

## 2. 使用方法

### ■窓用オーニング手動ヒモ操作タイプ

本体横にある操作ヒモを下に引くとオーニングが巻き上がります。ストッパーがかかっていることを確認し、ヒモをゆっくりと放し止めます。操作ヒモを少し引き、ストッパーがかからないようにゆるめていくとヒモが上に巻き取られ、オーニングが出てきます。少し引いてストッパーがかかっていることを確認し、ゆっくりと放し止めます。任意の位置でとめていただくことができます。操作する際は、ヒモなどとの摩擦によるケガ・ヤケドにご注意ください。操作ヒモは窓下にU字に少したらし室内へ引き込んでおくと、ぶらぶらせずにしめます。

### ■窓用手動巻上機タイプ (オプション巻上機取り付け)

ハンドルをクランク状にし、巻上機の取り付け穴に挿します。左または右に回しオーニングをお好みの位置まで調整します。操作しないときはハンドルを外し、ハンドルは室内に保管してください。(ハンドルのグリップ部分はまっすぐにすることができます。)オーニングが最下点まで出たら、それ以上は出し方向にハンドルを回さないようにしてください。出し方向に回し続けると巻き上げになってしまいます。この操作は巻上機内でヒモからみを発生させる原因となり、分解メンテナンスが必要になる場合があります。

### ■電動タイプ ※リモコンの操作方法をご参照ください。

## 3. 生地の種類とそれぞれのお手入れ

### ●アクリル製布地 (日よけを主とした生地)

生地は雨にぬらすと汚れがつきやすくなります。ぬらしてしまったときや雨の次の晴れた日は、オーニングを出して干すようにし、なるべく乾いた状態を保つようにすることをお勧めします。時々、布地用撥水スプレー処理をお勧めします。(使用法は撥水スプレーの注意書きに従ってください。) 生地の汚れがひどくなったときや、やぶけてきた時は交換が可能です。

### ●ポリエステル製布地 (雨よけ効果のある生地)

中性洗剤での水洗いが可能ですが、危険を伴う場合は十分ご注意の上行ってください。濡れたまま巻き上げ、放置するとにおいを発生場合があります。十分乾かしてから巻き上げることをお勧めします。生地の汚れがひどくなったときや、やぶけてきた時は交換が可能です。

## 4. 日常のメンテナンス(定期メンテナンス)

- 関節部分に付いた汚れはきれいにしておってください。動作が重いときは潤滑剤(シリコンスプレーなど)をさすとかかる場合があります。
- 風の具合などにより、生地取り付け部分横のカバーがずれることがあります。かるくたたいて元にもどしてください。生地止めチューブがずれている場合は、生地がたるむ状態にしてチューブを生地の中にもどしてください。
- 生地を巻いている筒から出ている軸部分に時々潤滑剤をさしてください。
- 巻き上げギア側面白リングの内側に時々潤滑剤をさしてください。
- 窓用コンテスのストッパーの歯車付近に時々潤滑剤をさしてください。
- 窓用巻上機には、表面のプラスチックカバーを外すと、中央付近に潤滑剤吹き込み穴がありますので時々潤滑剤を吹き込んでください。カバーが外れない場合は、上部ヒモ通し穴から吹き込むこともできます。潤滑剤を吹き込むと操作ヒモが汚れることをご了承ください。
- 1年に1回定期的に保守点検を実施するか点検依頼をしてください。また、3~5年に1回は、指定の専門業者に点検を依頼してください。

## 5. 注意事項

次の場合は、破損防止及び故障の原因となるため注意事項をご確認ください。

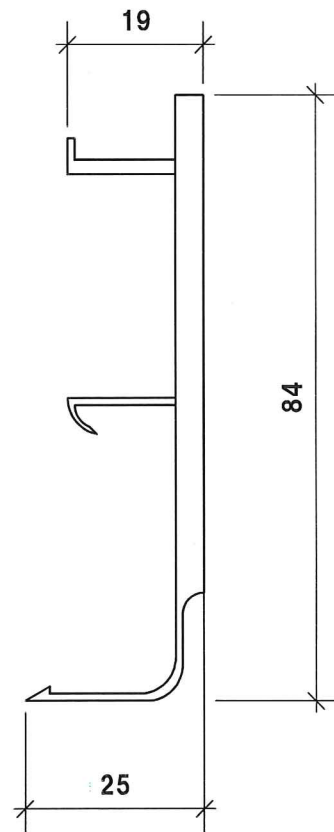
- ①大雨・降雪の時、またはそれが予想される時
- ②雨天の長時間の使用(雨天生地の場合でも雨量や状況によって使用を避けてください)
- ③オーニングが揺れるほどの強風または、それが予想される時。(目安として10m/秒速)
- ④オーニングにぶら下がったり、荷物をかけるなど、荷重をかけないでください。破損や落下の原因になります。
- ⑤外出の際は必ずオーニングは巻き上げてください。
- ⑥就寝する際は必ずオーニングは巻き上げてください。
- ⑦落ち葉・雪が布地に積もっている場合はきれいに除去してから巻き取ってください。
- ⑧雨や雪、露によりオーニングが凍結している際は溶けるのをまってから操作してください。
- ⑨開閉操作を行わない時は操作ハンドルをはずしてください。
- ⑩布地が逆巻きにならないようにしてください。布地・本体の破損の原因となります。
- ⑪オーニングを張り出した時、布地がたるまないように開閉調整をしてください。

不具合や故障かなと思ったら…

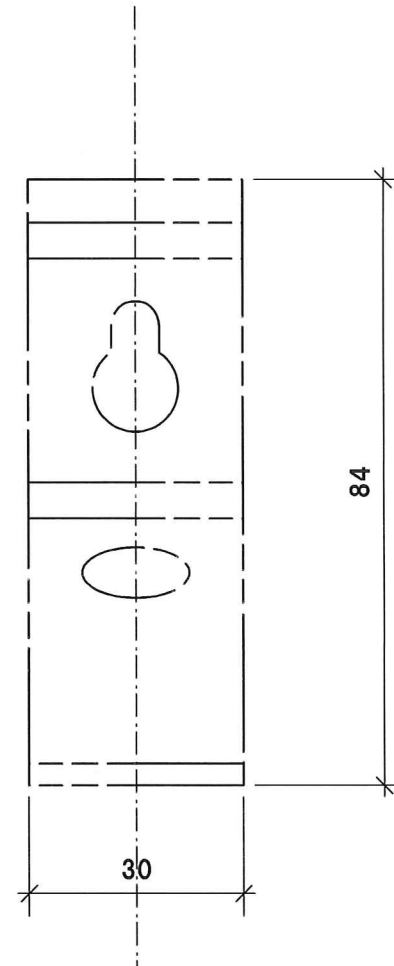
### 主な不具合現象とその対処

生地にしわが発生する	雪、枝、葉など異物が挟まった	除去してください。困難な場合は業者または当社に依頼してください。布地のしわが気になる場合は布地交換が必要です。
	巻き取り時に風の影響を受け左右のアームのバランスが崩れたまま巻き上げた	風のないときに巻き直してください。直らない場合はアームの調整が必要です。業者または当社に依頼してください。布地のしわが気になる場合は布地交換が必要です。
ハンドルの操作が重い	経年変化によりギア部が磨耗した	部品の交換が必要です。
	布地が逆巻きになっている	布はロールの上からの出入りが正常です。一度布地を全て出した後正しい方向に巻き直してください。
	経年変化によりアーム可動部分が破損した	部品の交換が必要です。
所定の位置までの出し入れ操作ができない	布地の引っかかりや操作ヒモがからんでいる	ケースの取り外しなどが必要なため、業者または当社に依頼してください。
	経年変化によりギア部が磨耗した	部品の交換が必要です。業者または当社に依頼してください。
ハンドルが空回りする	経年変化により操作ヒモが切れた	部品の交換が必要です。業者または当社に依頼してください。
	経年変化によりアーム作動ワイヤーなどが破損した	部品の交換が必要です。業者または当社に依頼してください。
開閉操作時に異音が発生する	生地ロール部の芯をささえる軸と軸受け部分にゴミなどが入った	軸受け部分の清掃をし、潤滑剤をさしてください。
	ギア内部が故障した	部品の交換が必要です。業者または当社に依頼してください。
	アーム関節部分に汚れが付着した	アーム関節部分の清掃をし、潤滑材をさしてください。

# 北欧オーニング カバーブラケット図



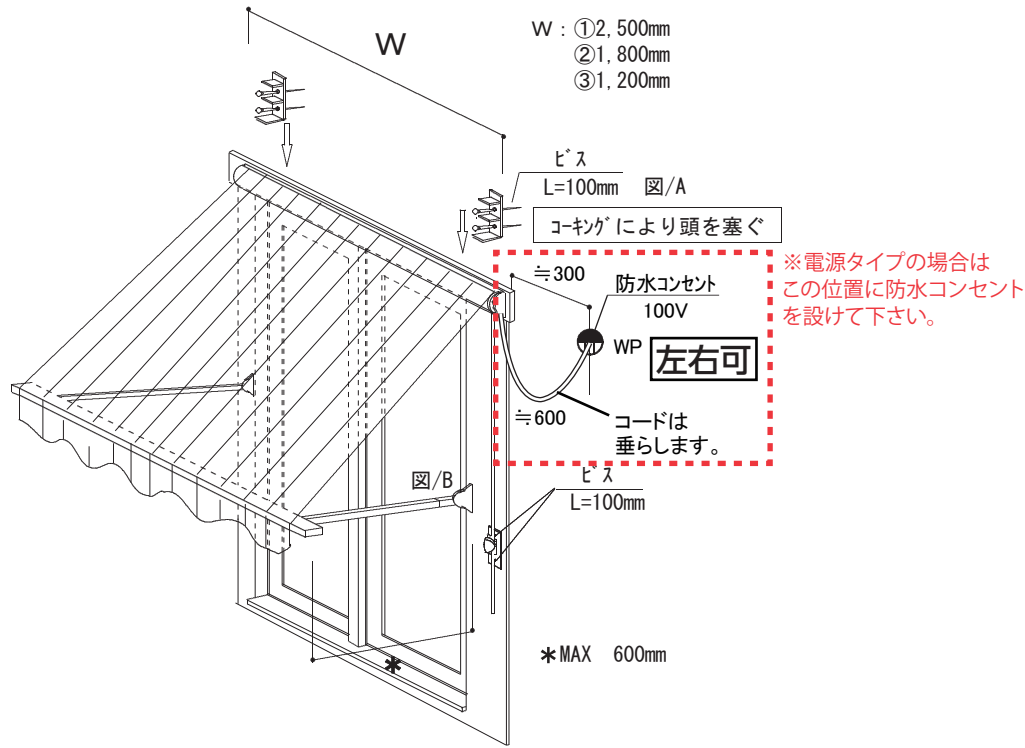
断面図



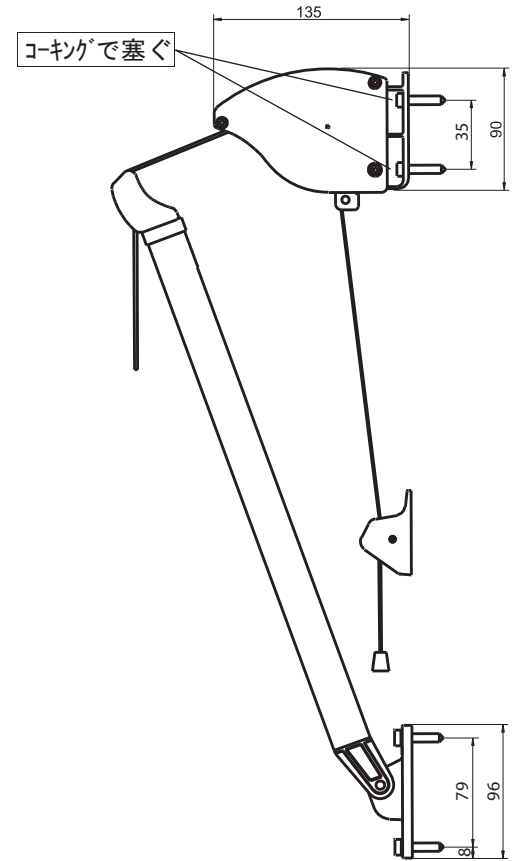
正面図

S=1/1

# 北欧オーニング図面

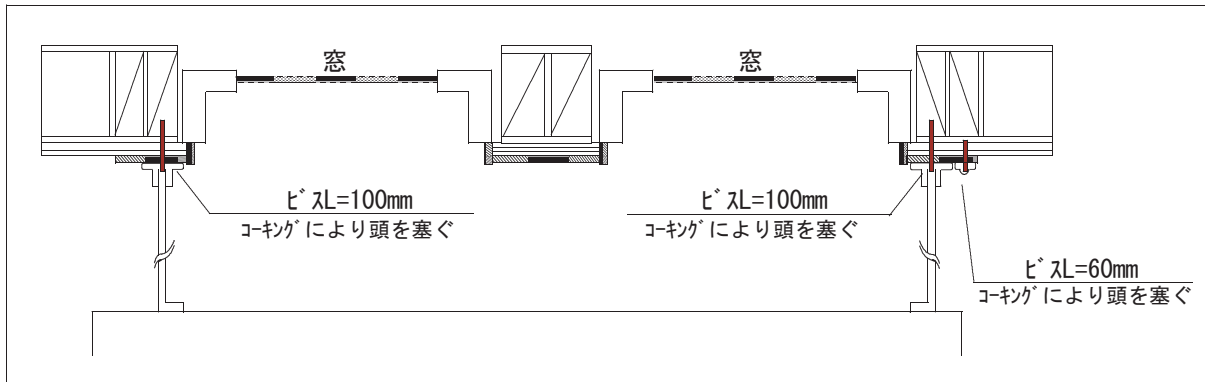
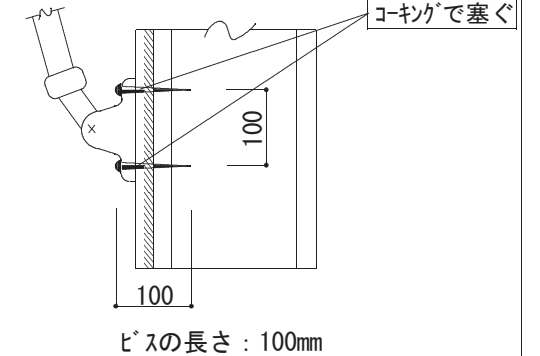


図/A 詳細断面図



図/A 詳細断面図

窓枠（両サイド）に取り付け



# オーニング施工マニュアル

## ～窓用バロネス用～

(オンリーワンクラブ向け)

# 窓用 オーニング

## 施工&メンテナンスガイド

本書は、弊社製品「窓用オーニング」の採用時より、施工引き渡し後のメンテナンスに至るまでの方法・注意点を言及したガイドブックです。

この内容を遵守戴き、下記の注意事項をよく読んで、

正しく施工していただきますようお願いいたします。

### オーニングを取り付ける前に

#### 施工時の 注意事項

- オーニング本体は上化粧枠に合わせます。
  - アームホルダー及び、ハンドウィンチはたて化粧枠内に収めます。
- 上化粧枠の上に軒天がある場合は、取付方法については下記の通りとなります。 —
- 1 アームホルダー及びハンドウィンチはたて化粧枠内に収めます。  
枠と軒天との間に隙間があれば取付は、手順通りとなります。
  - 2 隙間なくくっついている場合、軒天から30mm下げてブラケットを固定します。  
この際、窓を回転させる時に支障がでることがあります。
  - 3 上化粧枠が通常の高さをカットして軒天とついている場合は取付けは不可となります。
  - 4 本体と取付アームが固定していないので、施工時 生地が垂れてきますので、  
予め、本体と生地をヒモなどで軽く固定してから施工すると、垂れてくるのを防げます。

オーニング施工 巻き上げ機なしの場合

基本セット



A 本体



B アームセット



C ブラケット



D ブラケット&アーム用  
ねじ・ワッシャー



E ヒモ固定セット  
(オーニング施工 巻き上げ機あり  
の場合は使いません)

オーニング施工 巻き上げ機ありの場合

基本セット+巻き上げ機

基本セット 4点 A, B, C, D  
-本体, アームセット, ブラケット,  
ブラケット&アーム用, ねじ・ワッシャー  
(ヒモ固定セット, E は使いません。)



巻き上げ機



E 巻き上げ機本体



F 巻き上げ機用鍋皿ビス



G 巻き上げ機ハンドル



H 巻き上げ機用ビスセット

①



寸法を計測する

取付金具の下端を上化粧枠の  
下端から20mm上がった  
ところとする。

たて化粧枠内側から35mmを  
取付金具芯に合わせる。 ※2

※1 金具を化粧枠に取り付ける際に  
水切りにかかると場合があります。金具上端を水切りに合わせるか  
ヘラなどの工具を使用して、金具を突っ込み中に金具を入れて  
しまっても問題ないです。

※2 間口1200~1800mmの場合 35mm  
1900mm~ の場合 50mm

④



取付金具下端から510mm下に  
アームホルダーの上端を合わせる。

アームホルダーの中からワイヤーを  
引き出し、ホルダー裏側の真中の※1  
穴にワイヤー固定ボールを入れる。

※1 この部分に入れます。



②



4mm下穴用ドリルを用いて  
下穴を開ける。

※穴位置は下図のように上下の穴の、上側に穴がくるとします。  
※化粧枠のみ5.5mmのドリルで下穴を開けて、ビス打ち込み時の枠への負担を軽減させる

下穴に変成シリコン(ホワイト)  
を注入する



⑤



アームホルダー E1 が下に向く  
ように合わせる。  
その時 E1 は内側になるよう注意  
する。

②と同様に下穴を開け、  
変成シリコンを注入する。



※この部分が下にくるようにします。



③



取付金具を5×100mm(付属)  
ビスで固定する。

※垂直に注意する。

※取付金具一組につき、付属ナット、ワッシャー 上下個ずつ、計2つ  
使用します。

⑥



アームホルダーを付属の5×100mmビス  
で固定する。

※取付金具一組につき、付属ナット、ワッシャー 上下個ずつ、計2つ  
使用します。

⑦



寸法を計測する

アームホルダー下端から450mm  
下げた位置に巻き上げ機  
ケースDの上端に合わせる。

たて化粧枠内側から55mm入った  
所をケースDの芯に合わせる。

※高さ1900mm以上のタイプは、化粧枠外側面に巻き上げ機外側の幅を合わせて下さい。



ケースD

⑧



②と同様に下穴を開け、変成  
シリコンを注入する。

ケースDを固定する。上の1ヶ所は  
5×70mm のさらビス 下の2ヶ所は  
5×100mmの鋼ビスを使用する。

⑨



ケースDに巻き上げ紐を通し、  
ウィンチ本体にも紐を通す。

余分な紐は切る。(切りすぎないように注意)  
⑩の巻上機組立てに支障がない程度。



本体をブラケットに固定 フロントをカセット上部に置くか  
真ん中をくり、落ちないようにすると作業し易い

⑩



車輪内部パーツ(E)に大小の穴が車軸に一直線にあいており、大きい穴のほうから紐を入れ車輪の真ん中から取り出し、そこで紐の端に2つ玉を作って抜けないようにして下さい。

詳細は  
別紙「巻上機組み立て」  
をご覧ください。



パーツE

⑪



⑫



パーツEをウィンチ本体に戻し、  
プレート(C)をかぶせ  
プレート固定ビスで固定する。

付属ビスでプレート(C)とケースD  
を固定する。



プレートC



⑬



アームを上を持ち上げ  
フロントプロファイルのT型ボルト  
にナットで仮固定する。

※このとき、ナットがスライド出来るようになっているのでどちらか一方に  
傾いている事があります。図のように調整し、水平になるようにして下さい。

⑯



左右のバランスをチェックする

⑭



アームが垂直になるよう調整し  
固定する。

※水平器を使用して下さい。

⑰



完了

⑮

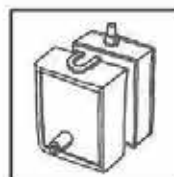


プラスチックカバー(A)を  
かぶせて取り付ける。

※ハンドルを差し込み、  
操作できるのを確認する

時計回り→しまう  
反時計回り→出す

カバー底部に  
1ヶ所水抜き穴を  
開ける。



プラスチックカバー  
A

# 【オーニング施工マニュアル 窓用

## 巻き上げ機組み立て



カバーを外します



ねじを外します



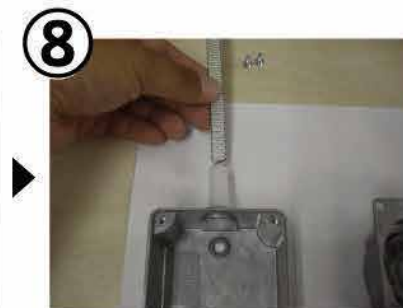
車輪を取り出します。



軸に穴があいているのを確認します



車輪の中央に穴があいているのを確認します



ひもを通します



通したひもを軸の大きいほうの穴から通します



グリスのついていないカバーを外したときの面の穴からひもを通します。



ひもを通したら、ひもを結んで玉を2つ作ります。次に車輪を収め蓋をし2ヶ所をねじでとめます。⑫の赤丸部分



ケースに取め 残り4個所の白丸部分をねじでとめます。



ハンドルを回転させ ひものたるみがケースに収まるまで巻き込みます。



カバーを付けます



完了